

III 業務報告

1 業務概要

1. 1 環境保健部

平成25年度は、調査研究の企画・調整業務、環境管理業務、環境保健情報処理システムの運用業務、当センター業務に係る研修・広報、水質環境管理に関する調査研究等を行った。

1. 1. 1 調査研究に関する企画・調整業務

当センターで行う調査研究を効率的かつ的確に行うため、鹿児島県環境保健センター調査研究実施要綱に基づき、所内に調査研究管理委員会を設け、調査研究課題の選定、進捗状況の管理、研究成果の評価等を行った。

また、鹿児島県環境保健センター調査研究評価要綱に基づき、当センターの調査研究課題に関係がある行政担当者で構成する調査研究内部評価委員会、及び外部有識者で構成する調査研究外部評価委員会を開催し、調査研究の効率的かつ効果的な実施、活性化及び透明性の確保を図った。(詳細は、2.3を参照)

1. 1. 2 環境管理業務

本県内の湖沼や閉鎖性海域については、富栄養化等による水質汚濁の進行が懸念されており、特に、主要な水

域である鹿児島湾と池田湖については、水質汚濁の要因を明らかにし、総合的な水質保全対策を講ずる必要性から、それぞれの水質環境管理計画が策定されている。

平成25年度は、これらの計画の推進に資するため、基礎資料として環境関連のデータの収集・整理・解析を行うとともに、国や関係機関へデータ等を提供した。また、国や他自治体等の水質汚濁に関する各種情報の収集を行った。

1. 1. 3 環境保健情報処理業務

環境保健情報処理については、図1に示すとおり、2台のサーバーと業務用PCで構成された環境保健情報処理システムを構築し、その運用、管理を行っている。

このシステムを活用し、環境保全と保健衛生に関する調査研究、試験検査及び情報の管理を行うとともに、各種文献や他試験研究機関の調査研究成果等を含めた環境保健情報を蓄積・共有・活用することにより、業務の効率化、高度化を図っている。

また、これらの情報を提供することにより、環境及び保健行政の各種支援を行っている。

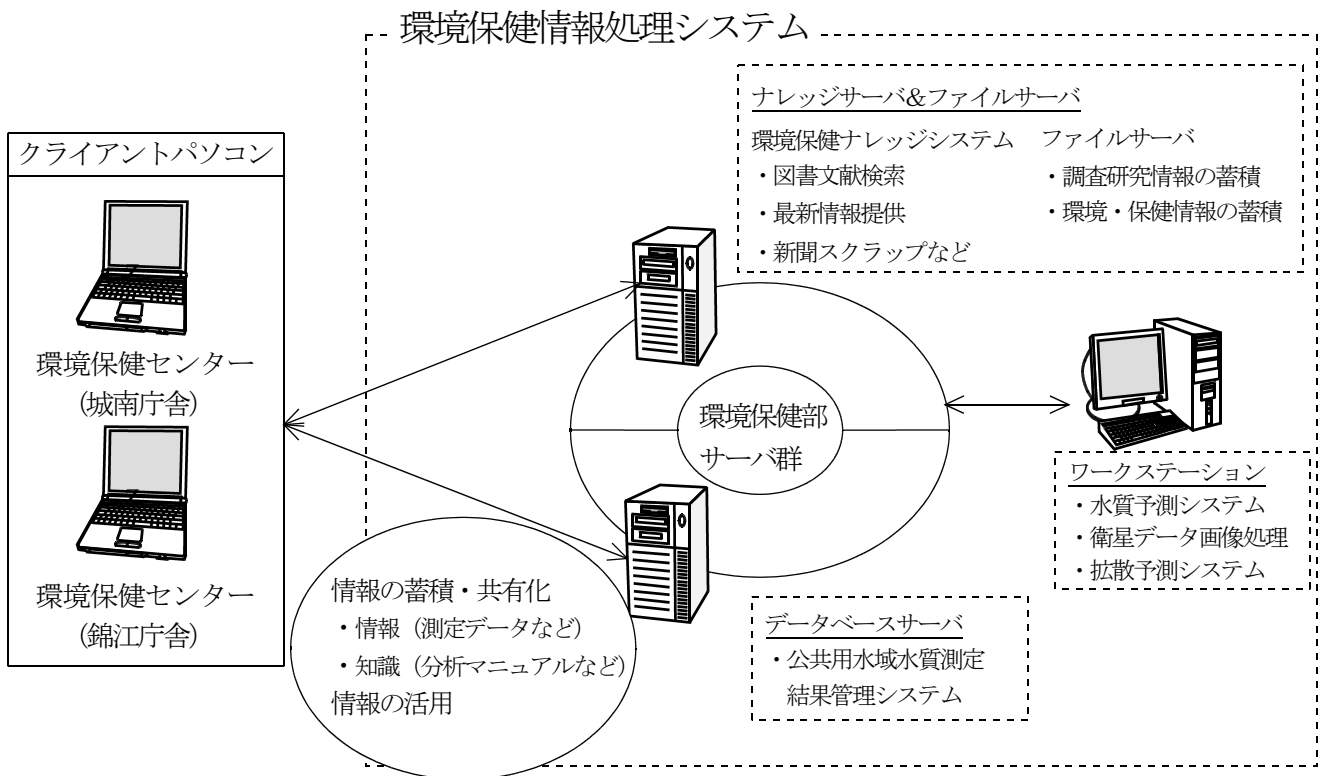


図1 環境保健情報処理システムの概要

1. 1. 4 研修・広報業務

当センターでは、一般県民等を対象とした環境保全及び保健衛生に関する学習、研修及び広報を実施している。

研修生及び来訪者に対し、大気テレメータシステムで収集したデータの表示装置や各種パネルなどを使用して、当センターの業務、鹿児島県の環境の現況等について研修・広報を行うとともに、県のホームページ上で当センターの業務についての広報を行った。

また、学生に職業意識の向上のための機会を提供するとともに、学生の行政に対する理解を深めることを目的としてインターンシップ学生の募集、受入を行った。

1. 1. 5 水質管理等に関する調査研究

平成25年度から、地球温暖化の現状及び影響や鹿児島湾流入河川の汚濁負荷等に関する調査研究を行っている。